

令和2年度第2回経営協議会議事要旨

日時 令和2年10月27日（火）12時53分～14時57分
場所 札幌駅前サテライト（教室1）
出席者 学外委員：今井、柿沼、串田、蔵本、松岡、見上
学内委員：蛇穴、佐川、後藤、横山、黒崎、荒井
オブザーバー：後藤、曾我、玉井、海老名
欠席者 小玉

議事に先立ち、学長から、令和2年8月1日付けで就任した学外委員の紹介があった。続いて、同9月1日付けで就任した監事の紹介があった。

また、本学学生が新型コロナウイルス感染症に罹患したこと、令和3年度に改組する新教職大学院の設置が認められたことについて、報告があった。

◎ 経営協議会委員名簿の更新について

学長から、資料1に基づき、経営協議会委員名簿の更新について、報告があった。

◎ 令和2年度第1回議事要旨の確認

学長から、資料2に基づき説明があり、確認・了承された。

◎ 議題

1 令和2年度人事院勧告に伴う本学の対応等について

黒崎理事から、資料3-1及び資料3-2に基づき、令和2年度人事院勧告に伴う本学の対応等について説明があり、審議の結果、原案どおり了承され、役員会に付議することとした。

2 令和2年度学内予算の組替えについて

黒崎理事から、資料4に基づき、令和2年度学内予算の組替えについて説明があり、審議の結果、原案どおり了承され、役員会に付議することとした。

◎ 報告

1 令和3年度以降の北海道教育大学グローバル教員養成プログラムについて

横山理事から、資料5-1から資料5-7に基づき、令和3年度以降の北海道教育大学グローバル教員養成プログラムの見直しについて、報告があった。

【学外委員からの主な意見等】

- ボランティア活動について、JICAと連携協定を締結し、青年海外協力隊の短期派遣を活用してはどうかと考える。
- 本プログラムの修了生が学校現場に出たときのインセンティブについて、教育委員会や文部科学省に相談するなど、検討して欲しい。また、本学を卒業した学校教員が、本プログラムを利用した学び直しができる仕組みがあれば、グローバル教員の層が厚くなると考える。

- 2 令和元事業年度財務諸表及び剰余金繰越の承認について
黒崎理事から、資料6-1及び資料6-2に基づき、令和元事業年度における財務諸表及び剰余金の繰越しについて、それぞれ文部科学大臣から承認されたことについて、報告があった。
併せて、統合報告書2020の概要について、報告があった。
- 3 令和2年度補正予算の措置状況について
黒崎理事から、資料7に基づき、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策等に係る令和2年度補正予算の措置状況について、報告があった。
- 4 令和3年度概算要求額について
黒崎理事及び財務部長から、資料8-1から資料8-3に基づき、令和3年度概算要求額及び機能強化の取組に関する戦略の進捗状況等について、報告があった。
- 5 北海道教育大学 大学の将来構想と今後の取組について
学長から、資料9-1及び資料9-2に基づき、第4期以降を見据えた大学の将来構想及び今後の取組等について、報告があった。
- 6 令和2年度監事監査計画について
曾我監事から、資料10に基づき、学長に提出した令和2年度監事監査計画について、報告があった。

◎その他

- 1 新型コロナウイルス感染症に関する学生への支援等について
黒崎理事から、机上配付資料に基づき、新型コロナウイルス感染症に関する学生への支援について、報告があった。
また、後藤理事から、同資料に基づき、前期における遠隔授業に関する学生アンケートの結果について、報告があった。

【学外委員からの主な意見等】

- 遠隔授業の実施にあたっては、学生と教員、学生同士のコミュニケーションが、どのように担保されているかを考えながら進めていく必要があると考える。

以 上